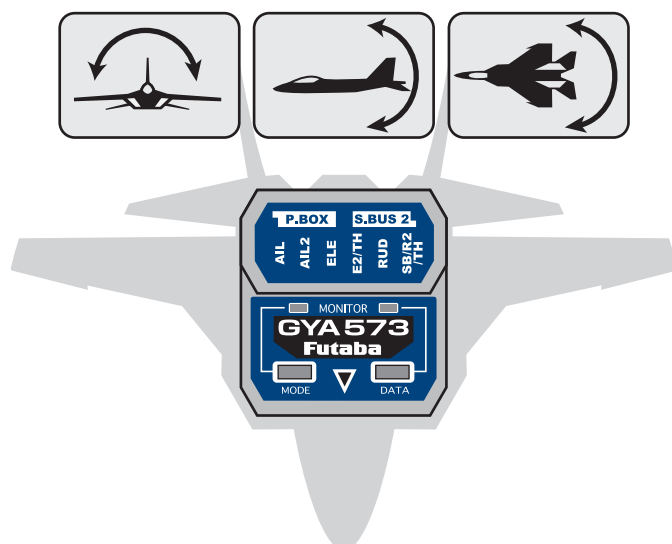




T32MZ

GYA553

GYA573

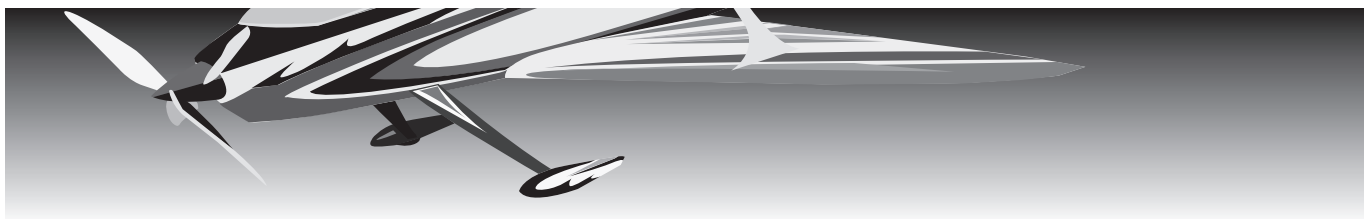


T32MZ(WC)

GYA553 Ver.3 ~ Ver.4 GYA573

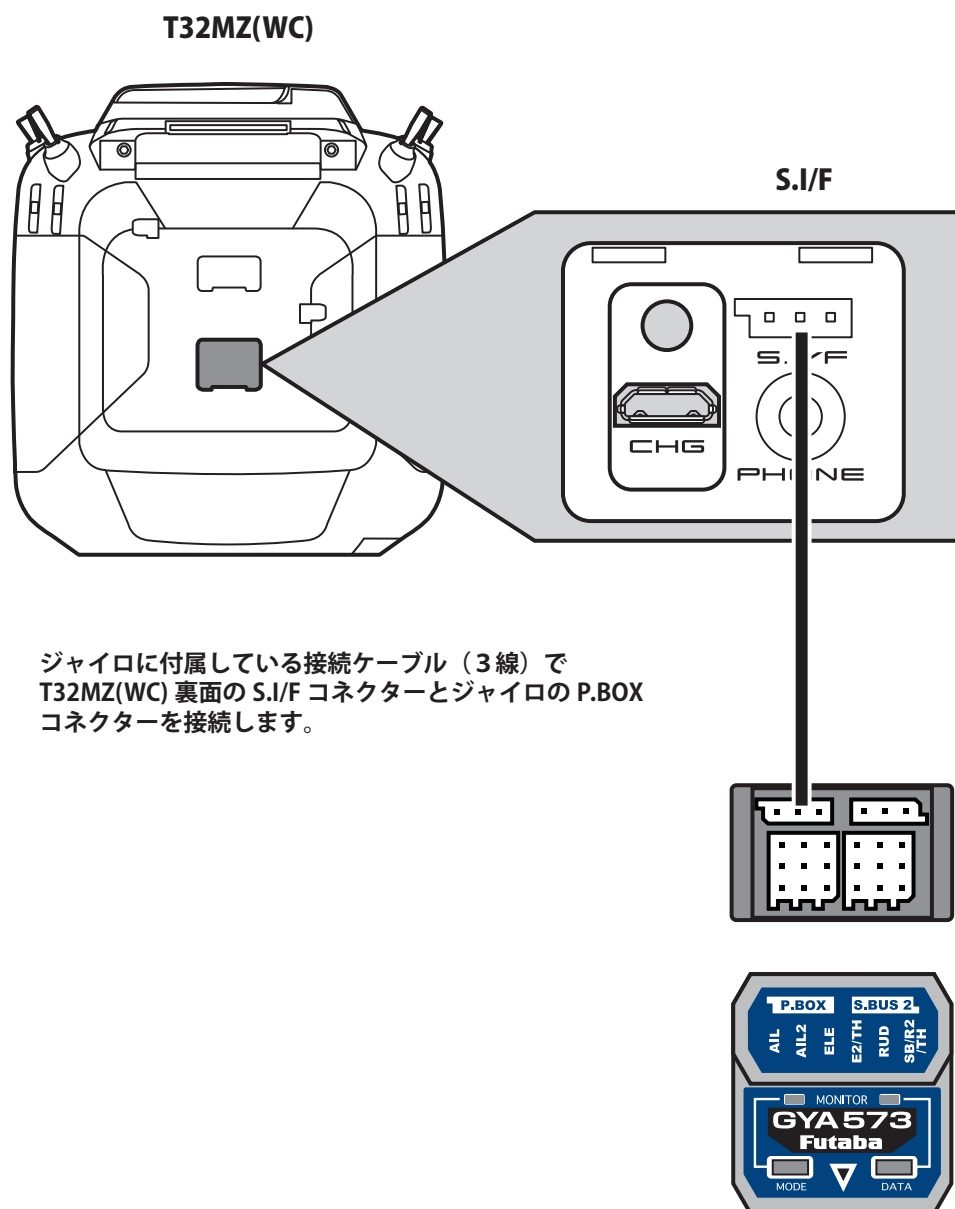
設定説明書

1M23Z08519



T32MZ(WC) と GYA を接続することで GYA の設定を行うことができます。
T32MZ(WC) は最新バージョンへバージョンアップしてご使用ください。

送信機とジャイロの接続

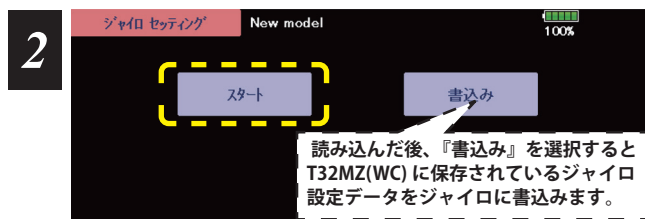


⚠ 注意

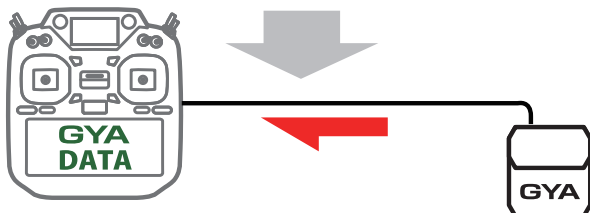
❗ ジャイロと T32MZ(WC) の接続ケーブルの抜き差しは、必ず電源を OFF の状態で行う。



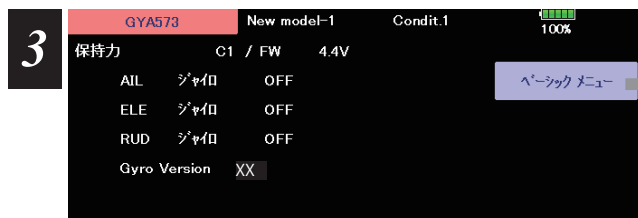
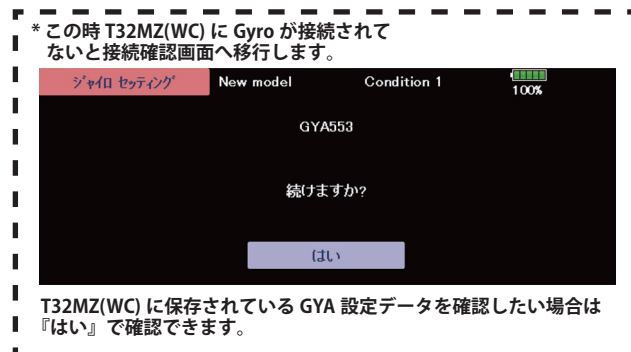
1. 飛行機のモデルメニュー最終ページで『 gyro settings 』を選択



2. 『 start 』を選択



『 start 』を押すと Gyro のデータが T32MZ(WC) へ読み込まれます。



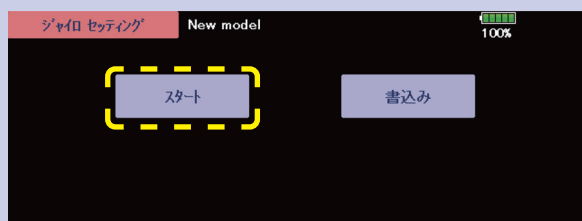
3. Home 画面表示

ベーシック・メニューへ

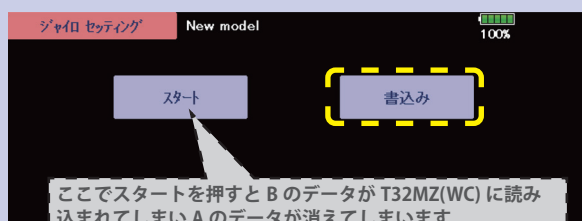
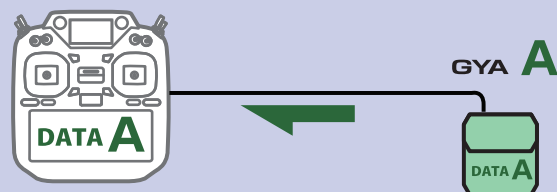
※ GYA573 のデータを GYA553 に書き込むことはできません。

※書き込み完了後、 gyro の電源を入れ直してください。追加された機能のデータが展開されます。

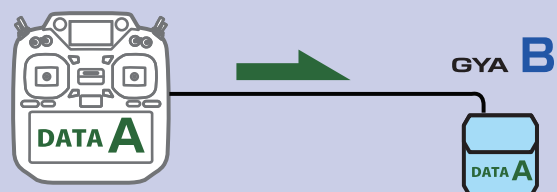
◆ gyro A のデータを gyro B にコピーする場合



gyro A を T32MZ(WC) に接続して [start] を押します。(A のデータを T32MZ(WC) に入れる)



gyro B を T32MZ(WC) に接続して [save] を押します。(A のデータを gyro B に入れる)



ホーム画面

ホーム画面の表示内容

ホーム画面は、電圧、ジャイロ動作モード、感度などの基本情報を表示します。

機種名表示

読み込んだデータの機種名 (GYA553 または GYA573) を表示します。

ジャイロ動作モード・感度(ゲイン)表示:

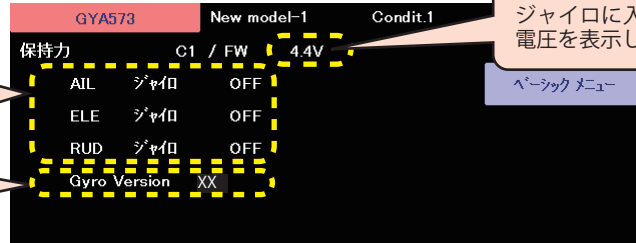
エルロン、エレベーター、ラダー軸の AVCS または ノーマルの動作モードと設定感度を表示します。

ジャイロ Ver. 表示:

接続された GYA のソフトウェアバージョンが表示されます。

電圧表示

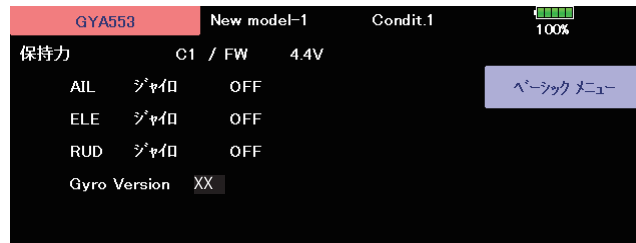
ジャイロに入力された電圧を表示します。



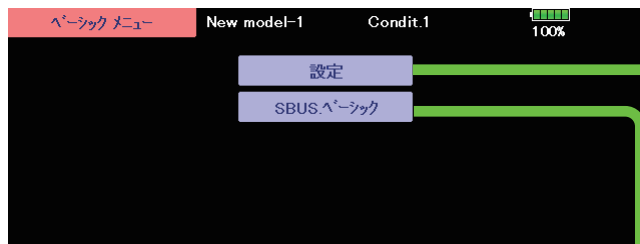
ベーシックメニュー GYA553 の場合

基本的な設定をするメニューです。各ベーシックメニューは必ず設定が必要です。

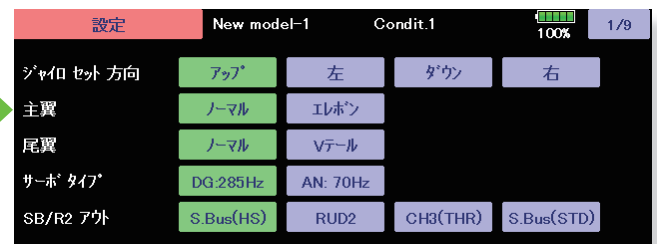
ホーム画面



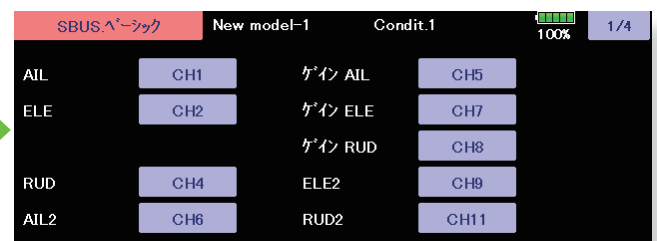
ベーシックメニュー画面



◆設定



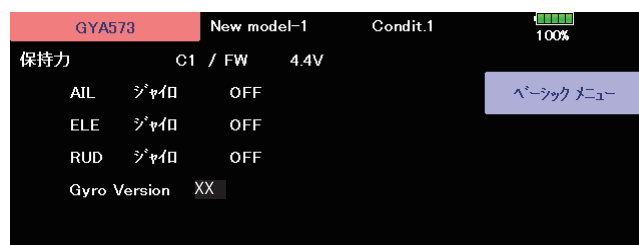
◆SBUS ベーシック



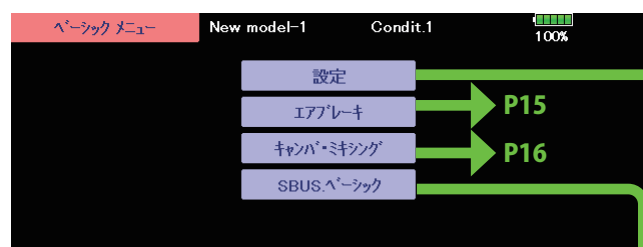
ベーシックメニュー GYA573 の場合

基本的な設定をするメニューです。各ベーシックメニューは必ず設定が必要です。

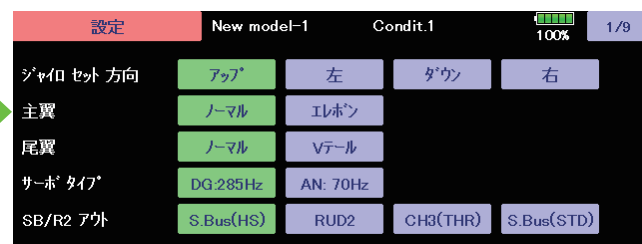
ホーム画面



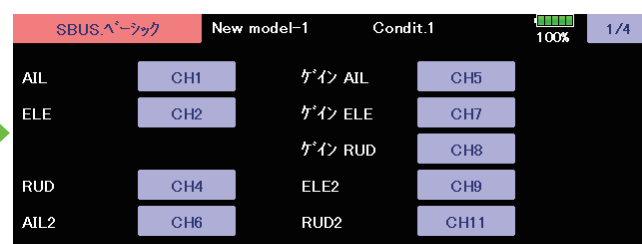
ベーシックメニュー画面



◆設定



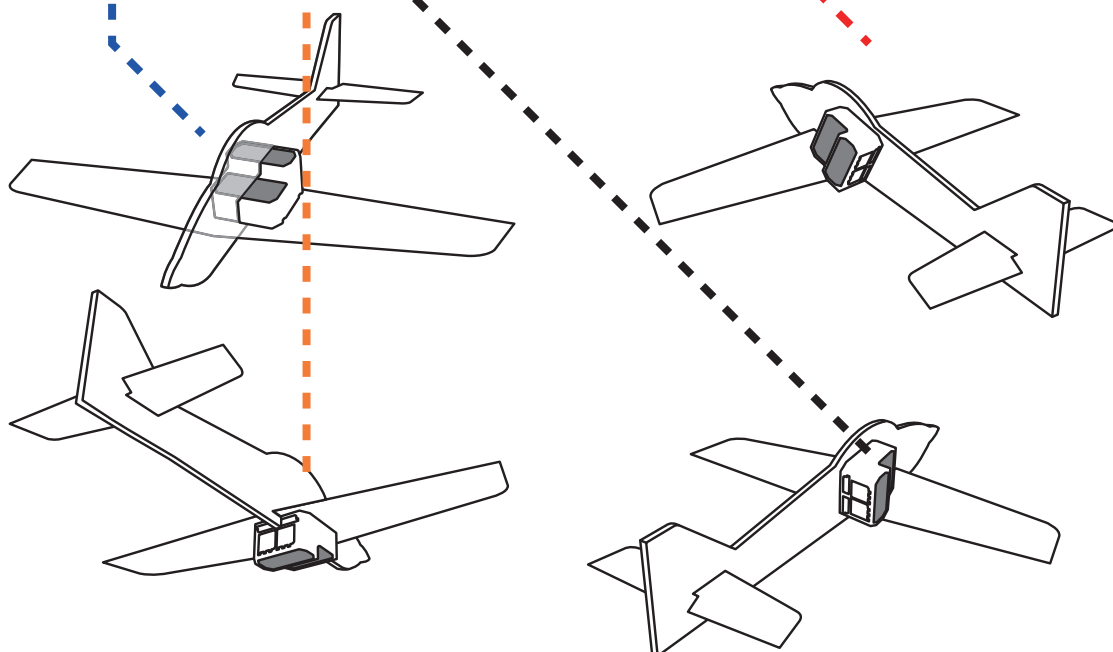
◆SBUS ベーシック



設定 1/9 ジャイロセット方向

設定	New model-1	Condit.1	100%	1/9
ジャイロ セット 方向	アップ	左	ダウン	右
主翼	ノーマル	エルボン		
尾翼	ノーマル	Vテール		
サーボ タイプ	DG:285Hz	AN:70Hz		
SB/R2 アウト	S.Bus(HS)	RUD2	CH3(THR)	S.Bus(STD)

機体へのジャイロ搭載方向を入力します。

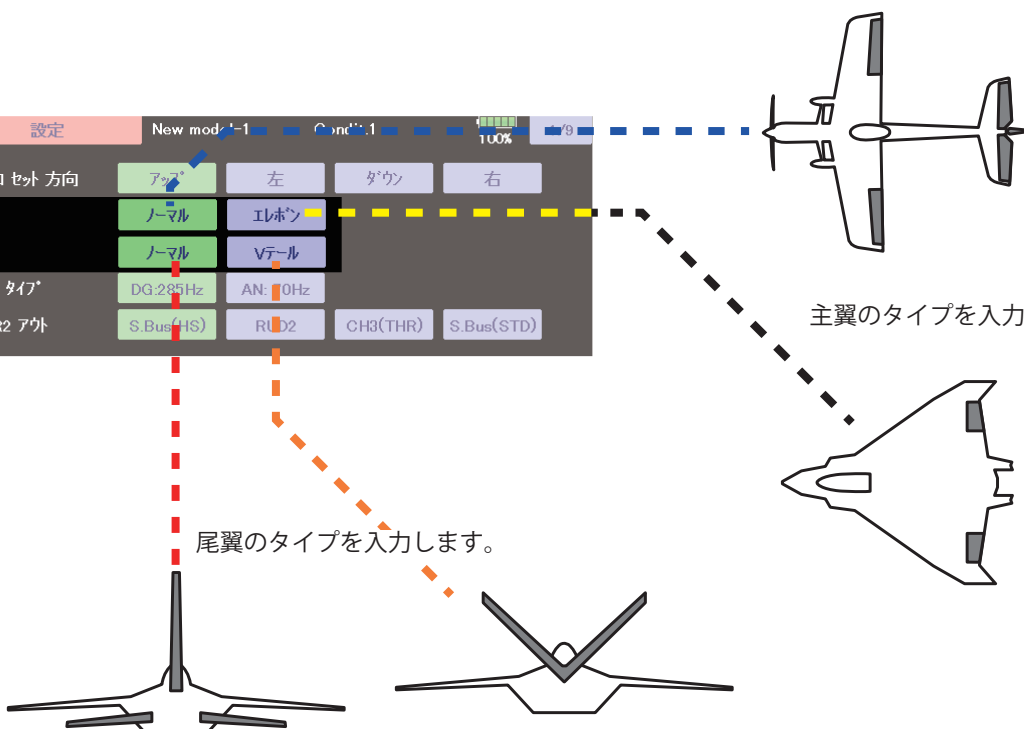


設定 1/9 主翼 / 尾翼

設定	New model-1	Condit.1	100%	1/9
ジャイロ セット 方向	アップ	左	ダウン	右
主翼	ノーマル	エルボン		
尾翼	ノーマル	Vテール		
サーボ タイプ	DG:285Hz	AN:70Hz		
SB/R2 アウト	S.Bus(HS)	RUD2	CH3(THR)	S.Bus(STD)

主翼のタイプを入力します。

尾翼のタイプを入力します。



設定

設定 1/9 サーボタイプ

設定	New model-1	Condit.1	100%	1/9
ジャイロ セット 方向	アップ	左	ダウン	右
主翼	ノーマル	エルボン		
尾翼	ノーマル	Vテール		
サーボ タイプ	DG:285Hz	AN: 70Hz		
SB/R2 アウト	S.Bus(HS)	RUD2	CH3(THR)	S.Bus(STD)

デジタルサーボ

アナログサーボ

サーボタイプを入力します。

設定 1/9 SB/R2 アウト

設定	New model-1	Condit.1	100%	1/9
ジャイロ セット 方向	アップ	左	ダウン	右
主翼	ノーマル	エルボン		
尾翼	ノーマル	Vテール		
サーボ タイプ	DG:285Hz	AN: 70Hz		
SB/R2 アウト	S.Bus(HS)	RUD2	CH3(THR)	S.Bus(STD)

SB/R2 のポートを選択します。

S.BUS(HS)

ラダー 2

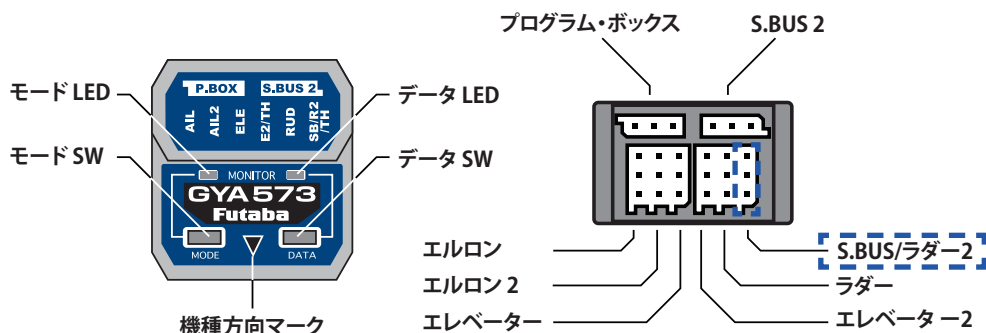
スロットル

SV サーボを接続する場合は、S.BUS(HS)をご使用ください。



S.BUS(STD)

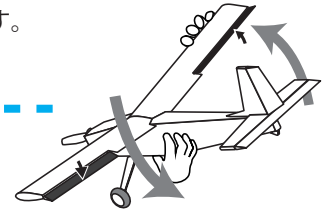
S3175HV、DLPH-1 など、S.BUS(HS)だと動作しない場合、S.BUS(STD)を使用してください。



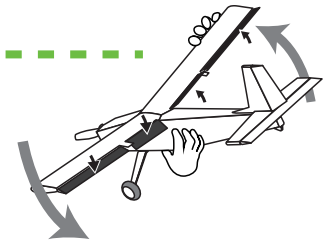
設定 2/9 ジャイロ動作

設定	New model-1	Condit.1	100%	2/9
ジャイロ 動作				
AIL	ノーマル	AIL2	ノーマル	
ELE	ノーマル	ELE2	ノーマル	
RUD	ノーマル	RUD2	ノーマル	
AIL3	ノーマル	AIL4	ノーマル	

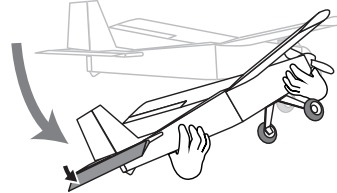
ジャイロ動作方向を入力します。



機体を左に傾けてエルロンが右に動作するかチェック



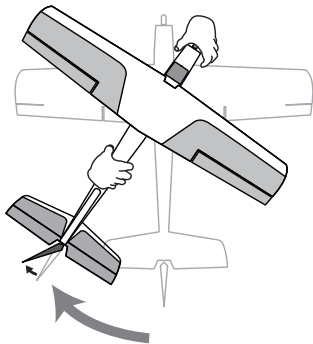
機体を上に傾けてエレベーターがダウンに動作するかチェック



SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3 と AIL4 の設定項目が表示されます。

※ AIL3 と AIL4 の設定は GYA 本体のボタン設定では設定できません。

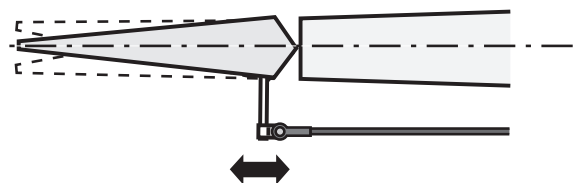
地上で機体を右に振ってみてラダーが左に動作するかチェック



設定 3/9 ニュートラルオフセット

各舵のニュートラル位置を調整できます。

設定	New model-1	Condit.1	100%	3/9
ニュートラル オフセット				
AIL	+0	AIL2	+0	
ELE	+0	ELE2	+0	
RUD	+0	RUD2	+0	
AIL3	+0	AIL4	+0	



※ AIL3 と AIL4 の設定は GYA 本体のボタン設定では設定できません。

SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3 と AIL4 の設定項目が表示されます。

ニュートラル位置になるように
[△][▽] キーで調整

設定 4/9 5/9 サーボリミット



各舵のリミット位置（最大動作位置）を調整します。

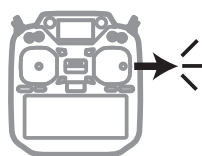


使用している舵は、すべて調整してください。

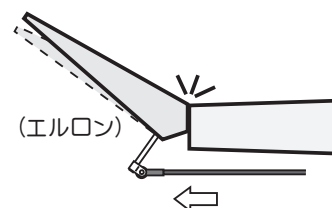
SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3 と AIL4 の設定項目が表示されます。

※ AIL3 と AIL4 の設定は GYA 本体のボタン設定では設定できません。

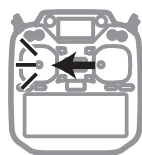
エルロンの例



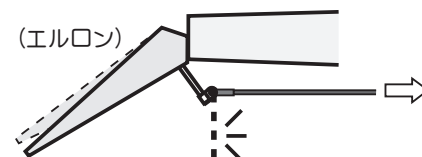
エルロン・スティック
を右フル操作して



最大動作位置になるように
数値 (%) を調整



エルロン・スティック
を左フル操作して



最大動作位置になるように
数値 (%) を調整

設定 6/9 保持力の調整

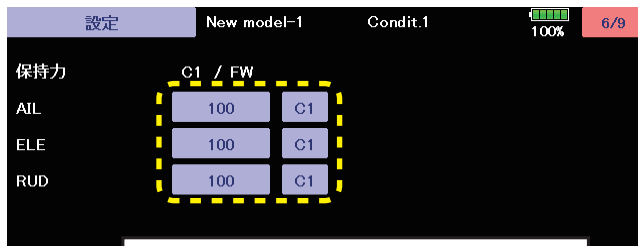
AVCS モード時の機体の姿勢保持力を調整できます。

数値を小さくすると保持力が弱くなり、操作フィーリングがノーマル・モードに近づきます。

送信機のチャンネル操作で、現在のナンバー C1 ～ C5 を表示します。

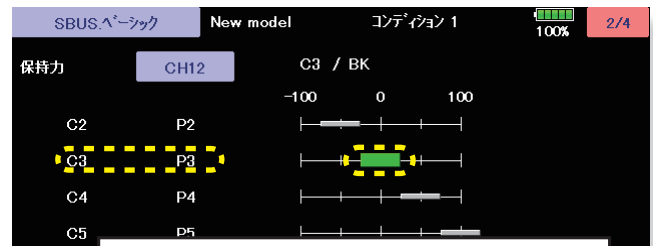
送信機のフライト・コンディション機能のように、送信機からのスイッチ操作で、AVCS モードの機体の姿勢保持力レートを最大 5 通りのデータを設定して、切替えて使用することができます。送信機の AFR 機能のあるチャンネルに保持力レート切替スイッチを設定し、AFR のポイントカーブで各レート毎にポイントを設定して切り替えることができます。フライトコンディション機能を使用して、フライト・コンディション・スイッチと連動させることも可能です。

設定画面 6/9



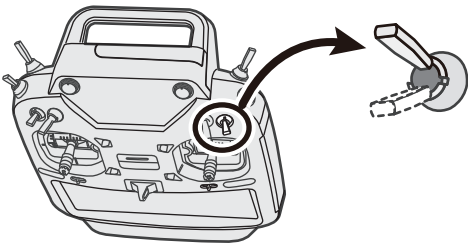
送信機のチャンネル操作で、現在のナンバー C1 ～ C5 を表示し、調整することもできます。

S.BUS ベーシック画面 2/4

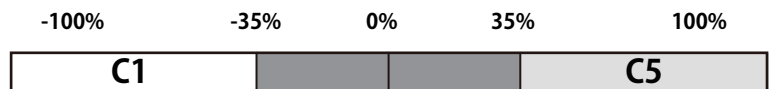


送信機のチャンネル操作で、現在のナンバー C1 ～ C5 のチャンネルポジションが緑表示になります。

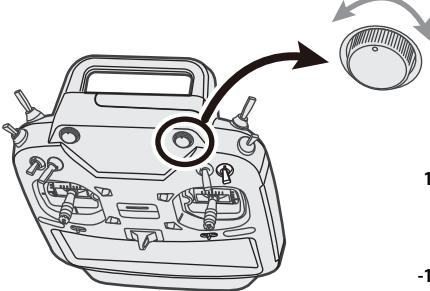
DG1 または DG2 の SW に設定した場合



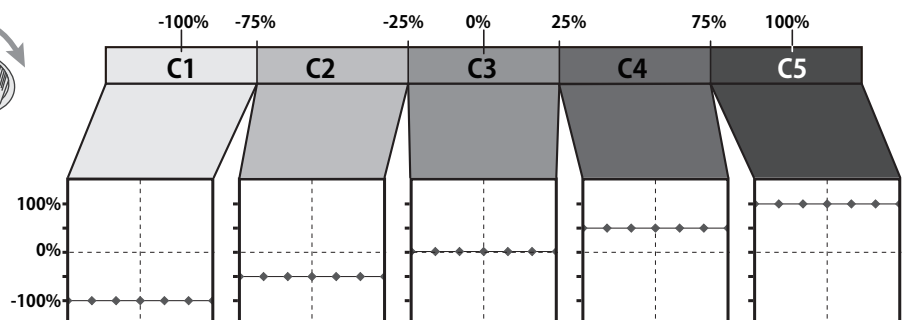
スイッチチャンネルレート



ダイヤルやレバー に設定した場合



チャンネルレート

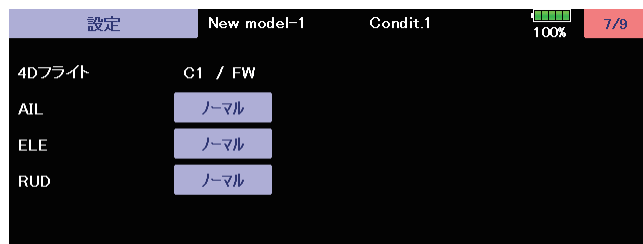


設定 7/9 4D フライトジャイロリバースモードの調整

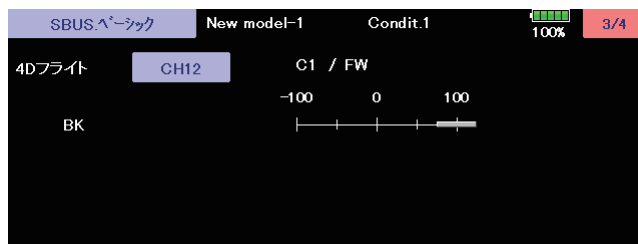
7 ページ目は、ジャイロリバースモードの設定になります。バック飛行時に、エルロン、エレベーター、ラダーの制御方向をリバースにするかの選択を行います。通常バック飛行時は、全ての舵の操舵方向が逆になりますので、ジャイロの制御方向もリバースにします。

前進 (FW)、バック (BK) の切り替えは、保持力と同様の CH12 の信号を使っています。スロットルスティックの中心付近から上側が前進、下側がバックになります。詳細の切り替えポイントの設定については、送信機の設定を参照願います。ジャイロリバースモード時は、機体の傾き方向と同方向にジャイロが制御します。前進・バックと切り替えて、ジャイロの制御方向が正しく切り替わるかの確認してください。

設定画面 7/9



S.BUS ベーシック画面 3/4

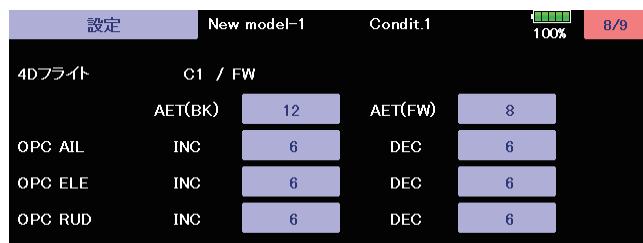


設定 8/9 4D フライトモードの調整

8 ページ目は、ジャイロ動作の細部のパラメーター設定を行います。

AET (BK), AET (FW) 機能は、前進、バック遷移時の機体の飛行姿勢の推定を行い、ジャイロ制御を最適化します。機体姿勢変化が早い場合は値を小さくします。姿勢変化が緩やかな場合は値を大きくします。前進、バック遷移時の補正値を独立に設定できます。設定範囲は 0 ~ 30 です。OPC パラメーターは、制御量の増加と減少時の速度調整を行います。設定範囲は 0 ~ 27 です。設定例の値は、SkyLeaf-ST の標準設定値になります。機体の特性や、フライトスタイルにより最適値が変わります。

設定画面 8/9



7-8 ページは 4D バック飛行の設定です。詳細の設定は Futaba ホームページ GYA 4D フライトセッティングマニュアルを参照ください。

GYA553 ~ Ver.3 では設定画面が表示されません。

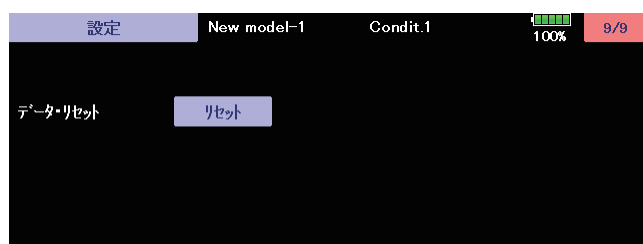
GYA553 Ver.4 または GYA573 は設定可能です。

設定 9/9 リセット

各設定項目のリセットを行います。実行後は出荷時の初期値に戻ります。

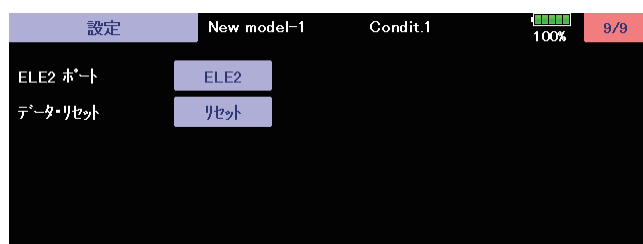
GYA553 の場合

設定画面 9/9



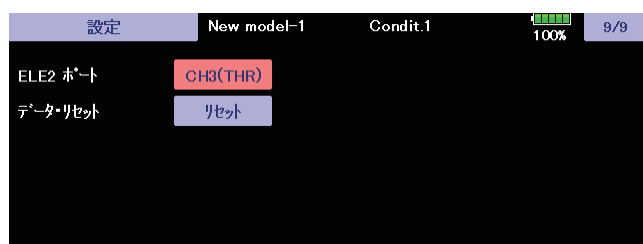
GYA573 の場合

設定画面 9/9



GYA573 の場合は、E2/TH ポートを、ELE2 出力または CH3(THR) 出力に設定できます。

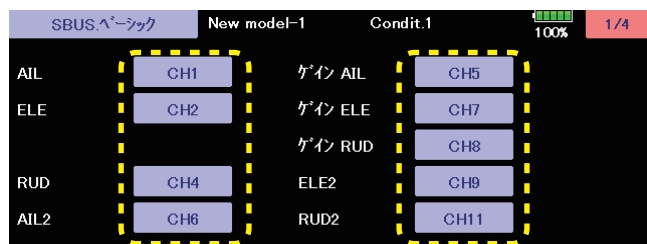
設定画面 9/9



※ GYA573 の場合は、エアブレーキとキャンバミックスの設定も初期化されます。

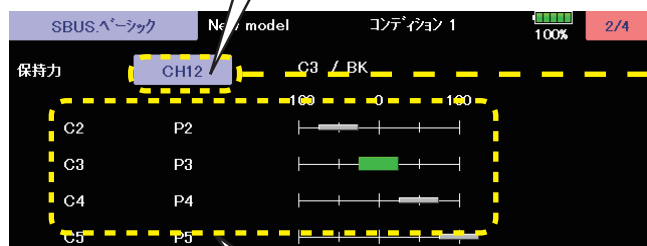
SBUS ベーシックメニュー

使用する送信機に合わせて、各ファンクションのCH 設定をします。使用しないファンクションは INH に設定します。



タッチするとチャンネル
が変更できます。

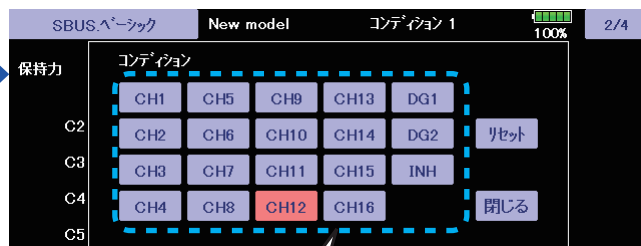
タッチするとレート切替 CH 設定
ページへ移動します。



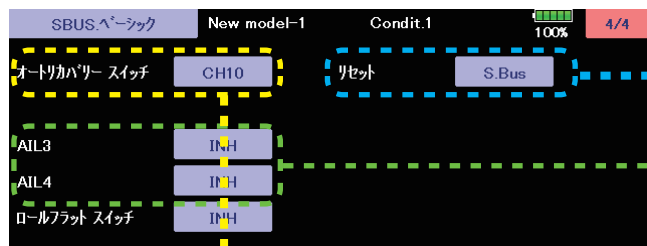
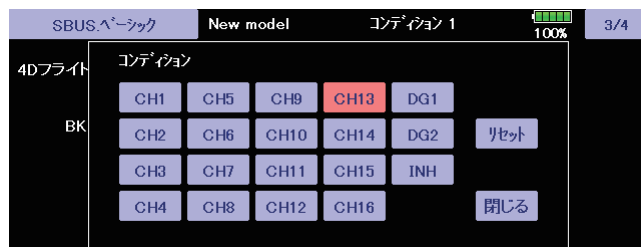
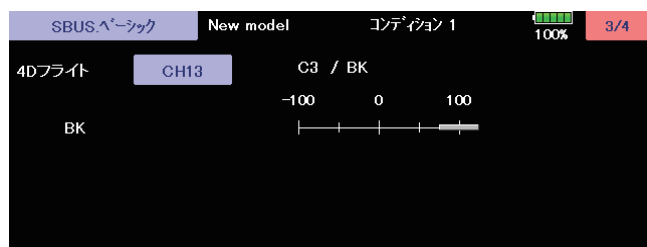
保持力レート C2 ~ C5

警告

① ジャイロと送信機が接続している場合のみ、設定変更が可能です。ジャイロと送信機の CH が必ず一致するように設定します。送信機の CH を変更した場合、ジャイロも変更が必要です。



レート切替に使用する CH をタッチ
して選びます。



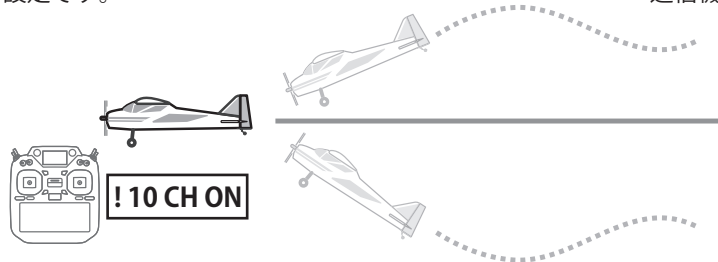
オートリカバリーを ON/OFF
させるスイッチのチャンネル
設定です。

SBUS ベーシックメニューでの
設定項目をリセットします。

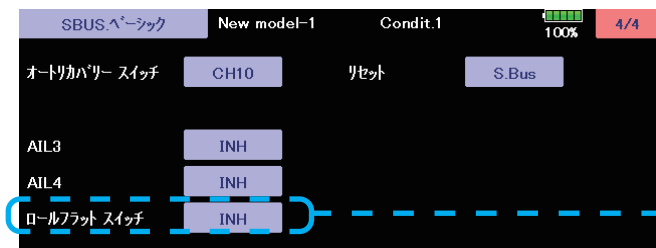
SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると AIL3 と AIL4 の CH 設定項目が表示されます。ここで、AIL3 と AIL4 の操作 CH を設定すると、ジャイロ制御された信号が、S.BUS 出力の該当 CH に出力されます。

※ 送信機側のファンクション設定画面の操作 CH と CH 設定と合わせてください。

※ AIL3 と AIL4 の CH 設定が INH のときは、ジャイロ制御されず、送信機から送られたデータがそのまま出力されます。



GYA573 の場合



ロールフラット機能を ON/OFF させるスイッチのチャンネル設定です。

ON する位置のパルス幅で、ロールフラットが ON するロール角を設定できます。

(本設定 CH の送信機側 AFR レートなどで設定します。)

【ロール・フラット機能】

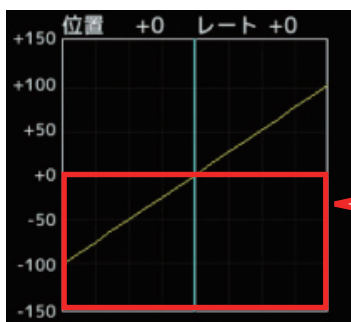
ロール軸だけ水平 (ロール角 0°) を維持する機能です。用途としては、着陸進入時に使用すると、機体を水平に保ちますので、エルロン操作が楽になり、スロットル、エレベーター操作に集中でき、着陸操作が楽になります。また、機体が背面時も同様に背面水平維持をしますので、上空飛行時の水平飛行の確認に役立ちます。ロールフラット機能がオンになるロール角は、着陸時は、 $10^\circ \sim 15^\circ$ 、上空水平飛行時は、 $15^\circ \sim 20^\circ$ 程度に設定すると、違和感の無い飛行になります。

ロール・フラット機能が ON する条件 (下記条件が全てそろったとき)

- 1) ロール・フラット・スイッチ・チャンネルの設定がされている場合 (INH でない場合)
- 2) ロール・フラット・スイッチ・チャンネルの操作位置が、送信機の AFR 設定画面で見たとき、ニュートラルより - 側の時
- 3) ロール・フラット・スイッチ・チャンネルの操作位置を送信機の AFR 設定画面で見たとき、レート値 $Wp(\%)$ であったとき、機体のロール軸の傾き角が、 $Wp/2(\text{度})$ 以内の時
- 4) エルロン・スティックの操作位置がニュートラルの時
- 5) 機体のピッチ軸の傾き角が、 $\pm 60^\circ$ 以内の時

【例】ロール・フラット・スイッチ・チャンネルが CH15 のとき、CH15 の動作位置が AFR レート -50% の位置とすると、ロール角が $\pm 25^\circ$ 以内であればロール・フラット機能が ON するロール角となります。

ロール・フラット・スイッチ・チャンネルの動作位置が AFR レート -100% 以下のとき、通常のオート・リカバリー・モードが動作します。

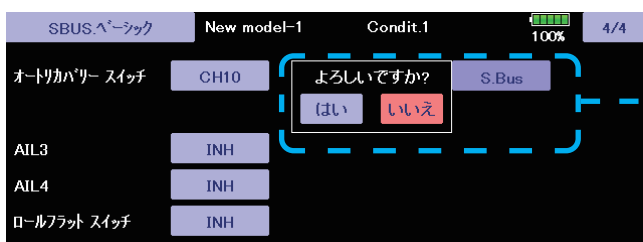


ロール・フラット・スイッチ・チャンネルがニュートラルから - レート側のときにロールフラット機能が ACT になります。

ロール・フラット・スイッチ・チャンネルの動作位置の AFR レートの 1/2 がロールフラットが ON になるロール角です。

【例】ロール・フラット・スイッチ・チャンネル動作位置の AFR レートが -50% の場合で、ロール角が $\pm 25^\circ$ 以内ならロールフラット機能が ON になります。

S.BUS ベーシック項目のリセットを行います。実行後は出荷時の初期値に戻ります。

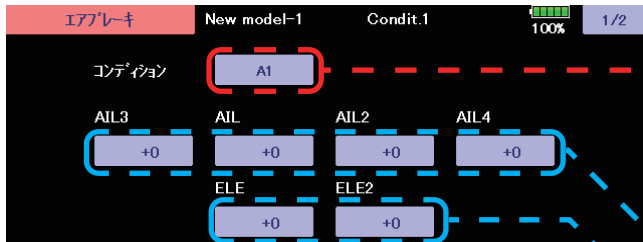


"リセット" をタップし確認画面で "はい" 押すと初期値にリセットされます。

エアブレーキ機能

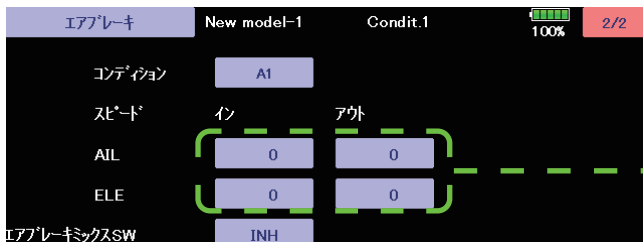
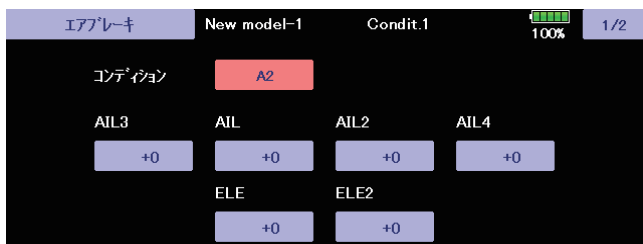
送信機のエアブレーキ機能と同等の機能です。レート A1/A2 の 2 レートの設定が可能です。
(動作量は送信機のエアブレーキ機能よりも、やや少なくなります。送信機のエアブレーキ機能を使用できない AVCS モードでも使用可能です。)

エアブレーキ ON 状態でもロールフラットは機能します。



エアブレーキ Mix レートの No. 表示
エアブレーキは A1 と A2 の 2 レートの設定が可能です。

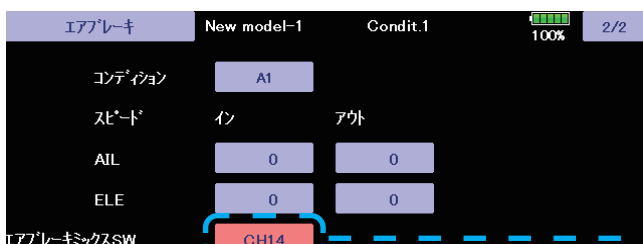
各舵の動作レート (-250 ~ 0 ~ +250)



各舵の動作スピード設定

設定範囲：0 ~ 27

IN はエアブレーキ Mix が ON するときの動作スピードです。
OUT はエアブレーキ Mix が OFF するときのスピードです。
A1 ⇄ A2 の切替時は、ON するほう (IN 側) のスピード設定が優先されます。

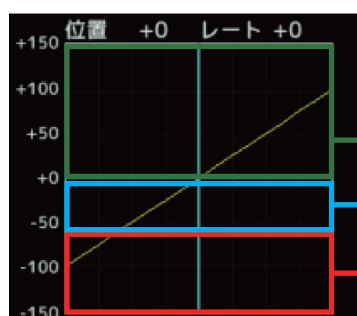


エアブレーキ Mix の ON/OFF CH 設定

設定範囲；INH, CH1 ~ CH16, DG1, DG2

同一 CH のパルス幅で A1 と A2 のレートが切り替わります。

送信機側の AFR で設定します。



A1 も A2 も OFF の領域 (ニュートラルから + レート側)

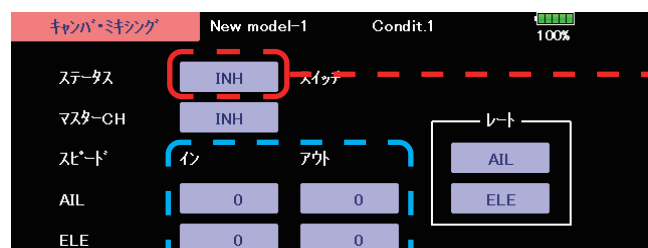
A1 が ON で A2 が OFF の領域 (ニュートラルから -50%)

A1 が OFF で A2 が ON の領域 (-50% 以下)

キャンバーミキシング機能

送信機のキャンバーミキシング機能と同等の機能です。

(送信機のキャンバーミキシング機能を使用できない AVCS モードでも使用可能です。)



Camber Mix ON/OFF 設定

[表示]

INH : INH

OFF : Camber Mix が ACT で、マスター CH 未設定の状態です。

ON : Camber Mix は ACT でマスター CH も設定されているが、ON/OFF CH 未設定の状態です。(Mixing 動作します。)

ACT : Camber Mix は ACT でマスター CH も ON/OFF CH も設定されている状態です。

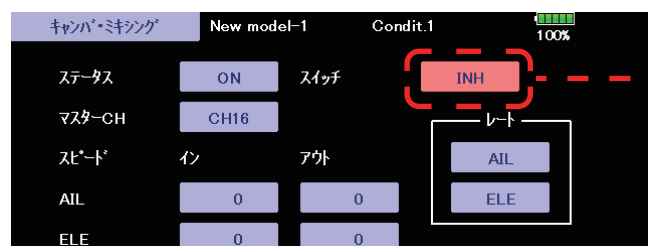
Camber Mix の動作スピード設定 (0 ~ 27)

Mixing OFF ⇒ ON 時と ON 中にマスター CH を操作したときは IN 側のレートで動作します。

Mixing ON ⇒ OFF 時は OUT 側のレートで動作します。

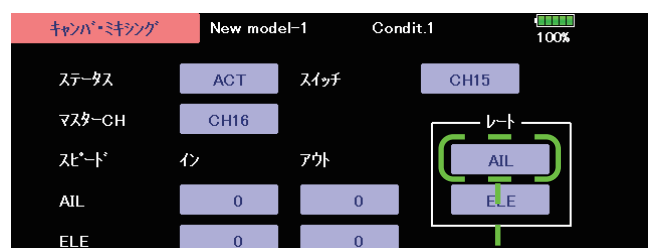


Camber Mix スイッチ ON の領域 (-50%以下)

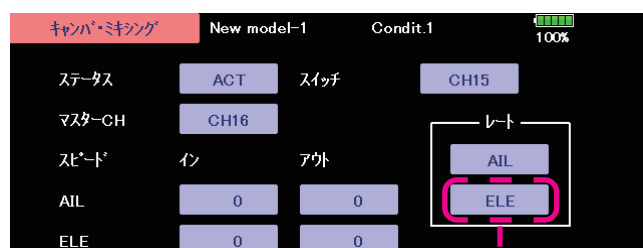


Camber Mix ON/OFF CH 設定

設定範囲 : INH, CH1~CH16, DG1, DG2



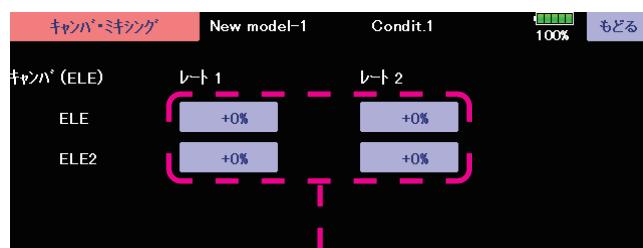
AIL 設定画面への遷移ボタン



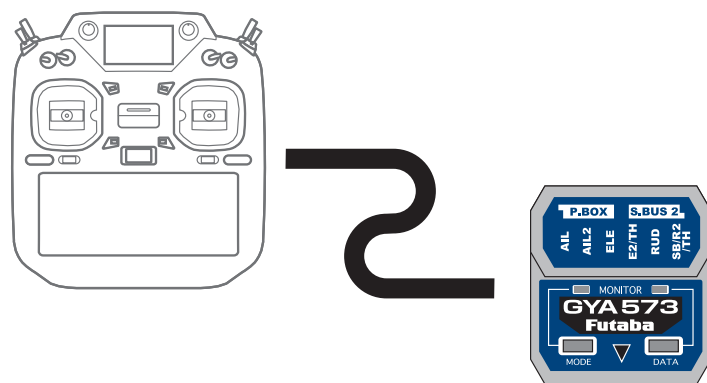
ELE 設定画面への遷移ボタン



AIL の動作レート (-100 ~ 0 ~ +100)
アップ側とダウン側を別々に設定可能です。



ELE の動作レート (-100 ~ 0 ~ +100)
アップ側とダウン側を別々に設定可能です。



Futaba®